

令和2年 11月 30日(月)

令和2年度 第2回高知市まちづくり活動検討委員

～ 前回までのふり返し ～

## 1 R2.7.27 第1回検討委員会で出された意見整理等

### (1) 検討委員会の中で協議しまとめていく事柄

- ・高知市の思い描く市民活動の未来を実現するために達成すべきポイントを整理し、まちづくりファンド（以下まちファン）の仕組みをデザインする。
- ・資金調達手段が多様化（クラウドファンディング等）する中で、まちファンの役割を明確化。
- ・まちファンのニーズに関する分析や、目的を見直し、検討委員で共通認識を持つ。

### (2) 今後のまちづくりファンドの在り方の中での課題

- ・見守り委員会から出された提案の検討。
- ・公金を使って行われているまちづくり活動であり、皆がまちファンの活動に参加しているということに関する市民への意識づけを図る。
- ・自由度が高く、活動の幅が広い反面、審査や活動に関するポイントが絞りづらい面もある。
- ・ファンド資金の用途の多様化（広報費等）を図る。
- ・こどもファンドとの関わり方の検討。
- ・行政の補助金でカバーできない団体や活動を拾っていく。

### (3) 成果物（答申書）の作成

## 2 R2.9.28 第1回勉強会で出された意見整理等

### (1) 答申書の構成について

- ・ファンドのグランドデザインを描いていくのであれば、助成団体を交えての座談会は必須。
- ・座談会のテーマについて「行政と団体の繋がり横軸」と「こどもファンド利用者とまちファン利用者や地域との、世代の繋がり縦軸」から考えてはどうか。
- ・前回報告書の「事例紹介」と「座談会」を合わせたイメージで開催。メンバー構成は、助成団体・関係する行政機関・検討委員とする。
- ・こどもファンド経験者の田部委員と学生の助成団体による対談を行い、若い世代が活動を継続していくうえで課題となることを考える。

#### 【座談会】（増田委員長・田中委員・中平委員）

- ・高知地域猫の会×生活食品課×3委員
- ・はるのあじさいコミュニティクラブ×春野高校教諭×3委員

#### 【対談】（田部委員）

- ・高知のZOU

### (2) アンケートについて

- ・事務局と詳細を詰め、サポートセンターから送付する。（池田委員）